

文学研究科 日本語日本文学専攻 日本語プロフェッショナルコース新設

広報アンバサダーに上田まりえさん

2023年4月、大学 エッショナルコース(修環として、日本語のプロフェッショナルとしての実績がすでにある人を対象とする。神田キャンパス開講。



上田さん(右)に委嘱状を手渡す佐々木学長

日本語教育の教職員、アナウンサーや声優、校閲者、ライターなどの受講者を想定。既にあるスキルを言語学的視点から分析し、その分野の指導者などを目指し、研究に取り組む。大学の卒業がなくても職歴などに基いた独自の入試制度を実施する。社会人を受け入れるため、平日夜間、土曜日にも開講する。

これにより、日本語日本文学専攻は、日本語学、日本文学文化との3コース制となる。日本語プロフェッショナルコースは、日本語学コースの科目も履修できる。日本語プロフェッショナルコースの広報アンバサダーに、本学卒業生でタレントとして活躍する上田まりえさん(平21文)が就任した。8月2日、神田キャンパスで委嘱状交付式が行われ、佐々木重人学長から委嘱状が手渡された。

大学院リカレント教育プログラム 大学院公開講座

PART 1
文学研究科「日本語プロフェッショナル列伝—season1 社会に貢献する日本語のプロフェッショナル—」
▽10月7~28日※毎週金曜日。全4回

PART 2
経済学研究科「企業の競争と国家・地域」
▽11月4~25日※毎週金曜日。全4回

[PART 1,2共通] ▽18時半~20時 ▽オンライン(ZOOM配信を予定) ▽受講料無料 ▽申し込みは大学ホームページの専用フォームから(QRコード参照)。詳細は受付終了後メールで送信 ▽受付期間は各受講希望日の5日前まで

問 大学院事務課(神田)
TEL: 03-3265-6568 / Email: gkouza22@acc.senshu-u.ac.jp

経済・飯沼ゼミ SDGs実現に向けた 取り組みを提案

オンラインイベントに参加

経済学部の飯沼健子ゼミが7月2日に開かれた「SDGsよこはまCI TY夏(よこはま国際協力・国際交流プラットフォーム運営委員会主催)」



発表を終え、視聴者にあいさつする学生たち

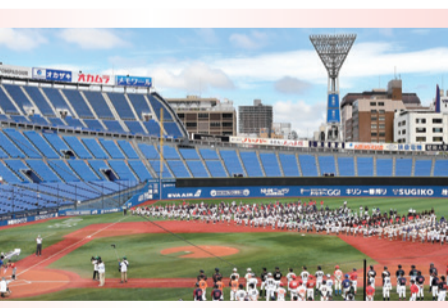
に参加し、SDGsに関する研究発表を行った。イベントは、国際協力や多文化共生の継続的な推進を目的に年数回開催され、今回はオンラインで約20団体が参加。発達途上の開発や経済などについて学ぶ飯沼ゼミは、「SDGs(大学G(学生)S)これぞよいか大学生たちよ」と題した発表を生田キャンパスからライブ配信した。

世界で2番目に多いと指摘。資源を守るためには「食器を水洗いする前に油汚れを取り除いたり、日常生活のなかで節水を心がけたり、一人一人の意識が大切」と訴えた。

今回の飯沼ゼミの参加は、ゼミのOBで、現在はイベントの主催団体の一つ、横浜NGOネットワークでコーディネーターを務める田中希希也さん(令4経済)が「コロナ禍の2年間を耐え忍んだ4年次生にゼミらしい活動を経験してほしい」と提案し、実現した。

「コンテンツを発信する側になることで、SDGsの問題に対して主体的に取り組むことができた」と話した。

JBC	1	0	0	0	1	2	0	1	5
栗木	0	0	3	0	1	0	0	0	4



準優勝の栗木ジャイアンツ



熱戦の軌跡

初優勝を遂げたサンダースJBC

初優勝 地域とともに

2022 専修大学カップ

スポーツを通じて神奈川県内の子どもたちの健全育成を支援する「2022専修大学カップ神奈川県学童軟式野球選手権大会(神奈川県野球連盟共催)が8月5日から11日まで、横浜スタジアム(横浜市)など県内の4球場で開催され、各地区の代表54チームが熱戦を繰り広げた。決勝戦は11日、バッティングパレス相石スタジアムひらつか(平塚市)で行われ、タイブレークまでもつれ込む接戦の末、サンダースJBC(相模原市代表)が栗木ジャイアンツ(川崎市麻生区代表)に5-4で勝利し、第16代王者に輝いた。

サンダースJBCの佐々木剛人主将(6年生)は「厳しい試合だったが、最後まで諦めず、集中してプレーできたことが勝ちにつながった」と決勝を振り返った。優勝チームには、大会会長の佐々木重人学長から賞状、優勝旗、優勝カップが、神奈川県野球連盟から賞状・優勝盾、横浜DeNAベイスターズから優勝盾が贈られた。3位の浅田1・2丁目子ども会野球部(川崎市川崎区代表)と山手メイツ(横浜市中区代表)を含む入賞チームには、記念のメダルが授与された。また、優秀選手賞にはサンダースJBCの嶋崎勇輝選手(6年生)、敢闘賞には栗木ジャイアンツの岡田楓篤主将(6年生)が選ばれた。

佐々木大会会長は、閉会のあいさつで大会関係者や各チームの監督・コーチ、選手たちを支えた保護者に謝意を述べつつ、「決勝は、攻守ともに鍛えられたチーム同士の引き締まった試合で、どちらが優勝してもおかしくなかった」と総括。「来年、またこの場で会えることを楽しみにしている」と話した。

優勝チームは、8月22日にtvk(テレビ神奈川)の「猫のひたいほどワイド」に出演。また、熱戦の模様は28日、同局で特別番組として放送された。

開・閉会式の司会は稲葉聡子さん(文2)が務めた。



大会会長の佐々木学長が優勝旗を授与